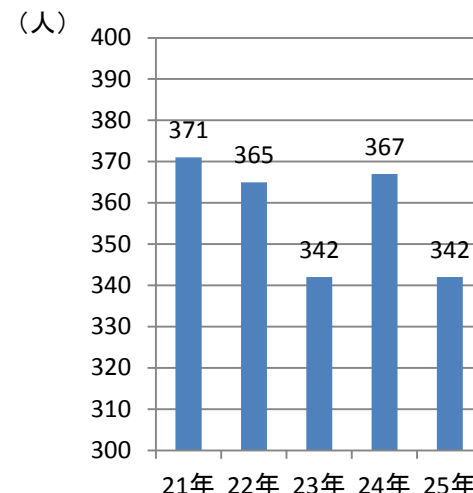
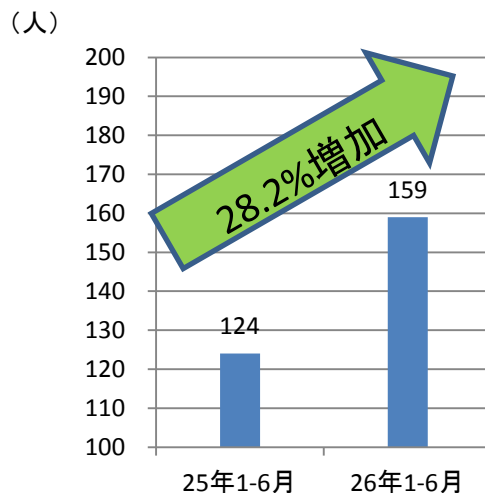


①

建設業における労働災害の発生状況

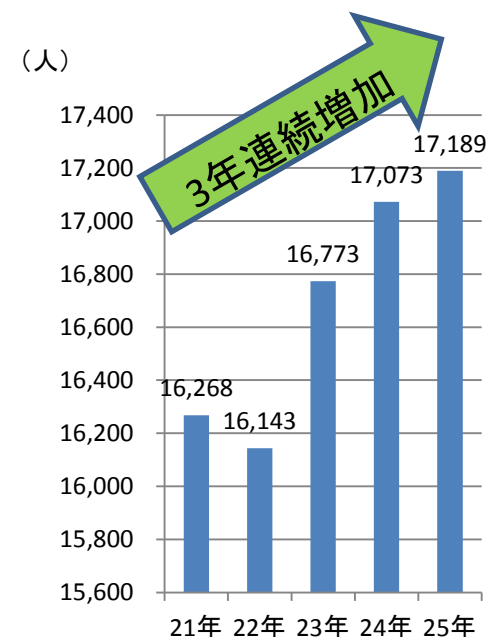
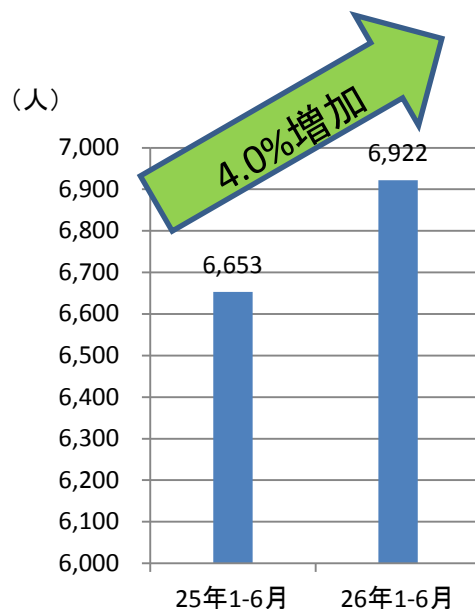
死亡災害

- 平成26年6月速報値で、対前年比**28.2%増**



休業4日以上の死傷災害

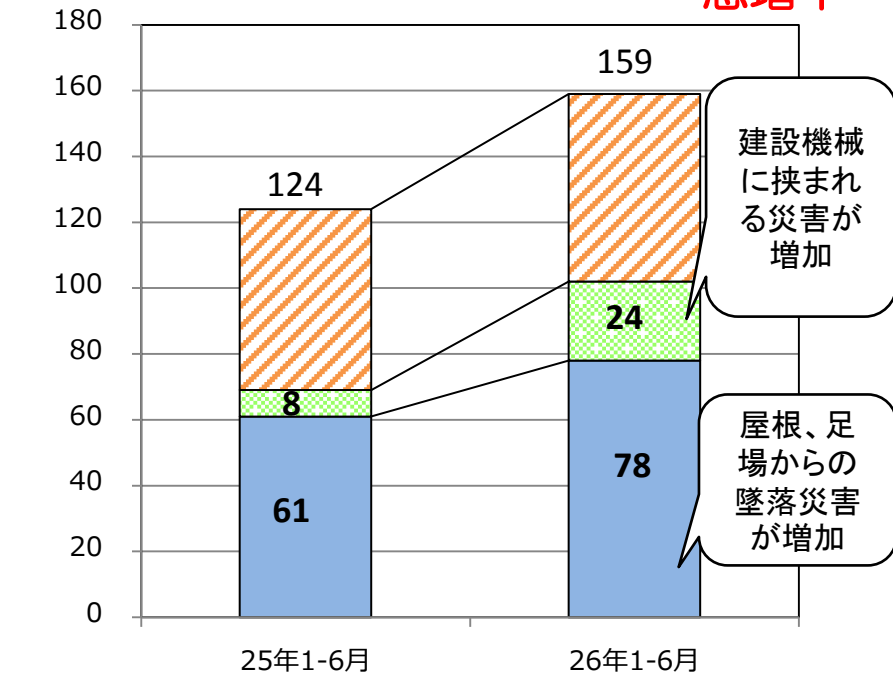
- 平成26年6月速報値で、対前年比**4.0%増**
- 平成22年以降**3年連続で増加**



②

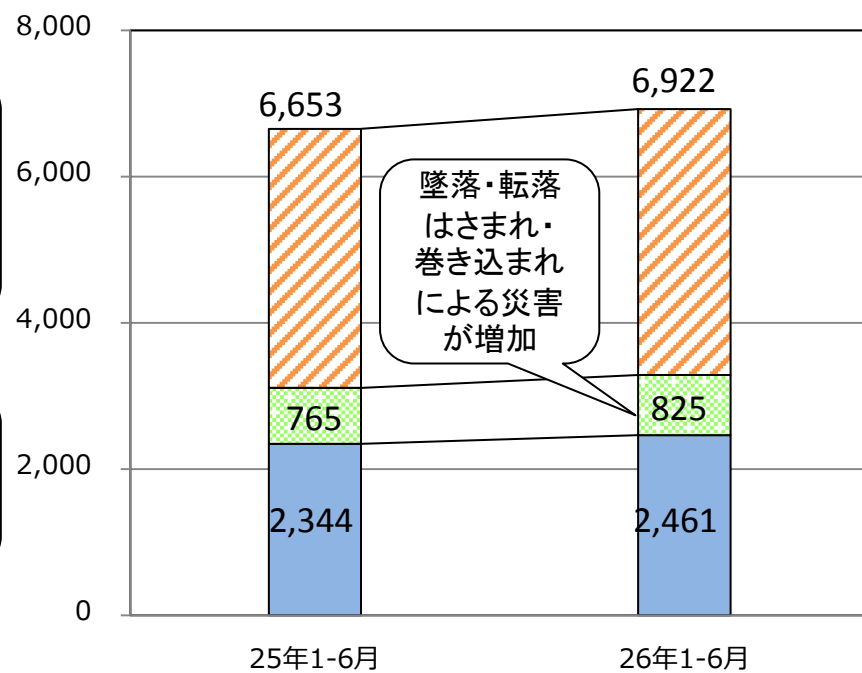
建設業における労働災害の特徴

(人) 事故の型別死亡災害発生状況 **急増中**



■ 墜落・転落 ■ はさまれ・巻き込まれ ■ その他

(人) 休業4日以上死傷災害発生状況 **増加中**



■ 墜落・転落 ■ はさまれ・巻き込まれ ■ その他

「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」の災害防止対策の推進が必要

【建設業における労働災害の増加要因】

- 平成24年から増加に転じた建設投資額が引き続き増加基調
- 未消化工事高が対前年比で増加
- 鉄筋工や型枠工などの建設技能労働者の需給状況がひっ迫
- 建設工事量の増大、技能労働者や現場管理者の不足等によって人材の質の維持や現場管理に支障を来し、個々の労働災害防止措置が十分に徹底されていないのではないかという懸念

③

建設業において取り組んでいただきたい事項

「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」による災害防止のための点検・対策の推進

1. 「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」による災害防止のための点検・対策の実施について、パンフレット等を活用して会員に周知
2. 「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」による災害防止のための点検・対策を重点としたパトロール等の実施
3. 全国大会等でのパンフレット配布等による周知啓発